



宮脇 昭 先生 追悼号

いのちの森づくり友の会 会報

Forest of the Life Activity Report 2021

第 **13** 号
社会福祉法人
進和学園



- ① 湘南国際村めぐりの森育樹・補植作業 (2021.6.18)
- ② 高尾小仏育樹・補植作業 (2021.7.6)
- ③ 高尾小仏植樹祭 2021 (2021.10.10)
- ④ 宮脇昭追悼植樹祭 秦野市 (2021.10.31)
- ⑤ 第 21 回湘南国際村めぐりの森植樹祭 (2021.11.7)
- ⑥ 「にのみや・どんぐりの森プロジェクト」(2021.11.20)
- ⑦ 「グリーンとしま」再生プロジェクト (2021.11.20)
- ⑧ 新東名秦野丹沢植樹祭 2021 (2021.12.11)
- ⑨ 東京藝術大学「Geidai Hedge 6」(2022.3.20)

追悼 宮脇昭先生・高野義武理事長(ReNaFo)／ご指導に感謝し「志」を未来へ！

昨年(2021年)夏、潜在自然植生に基づく「その土地本来の木による本物の森づくり」を世界各地でご指導された生態学者の宮脇昭先生(横浜国大名誉教授)がご逝去されました。(享年 93 歳) それから 1 ヶ月も経たぬ内に、ReNaFo(NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会)の高野義武理事長が急逝されました。(享年 77 歳)「いのちの森づくり」を強力に牽引されてきた指導者お二人を相次いで失ったショックは計り知れません。

宮脇先生には、進和学園の2施設(しんわルネッサンス・進和万田ホーム)の植樹祭を直々にご指導頂き、私達が「いのちの森づくり」を障害者の就労支援に活かす取り組みを全面的に応援下さいました。高野様は、宮脇方式(混植・密植)による植樹を数多く実践され、進和学園はじめ「どんぐりブラザーズ」(福祉施設による森づくりチーム)が手掛けた苗木の利用についても親身にご尽力下さいました。お二人の多大なご功績を称え、生前に賜りましたご指導ご交誼に心より感謝申し上げますと共に、慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

私達は、悲しみや苦難を乗り越え、歩み続けねばなりません。「森づくり」を通じた福祉・環境・教育・労働の連携を目指し、ささやかですが自然環境保全、並びに障害のある方々の生き甲斐や働く喜びを追求して参ります。皆で力を合わせ、「志」を未来へ繋いで参ります。どうか、天国から私共の取り組みを見守って下さいますように！(合掌)



宮脇 昭先生の植樹指導 進和万田ホーム植樹祭
(2009年6月7日)



「しんわルネッサンス」にて
(2012年5月17日)



「どんぐりブラザーズと植樹大作戦」
湘南国際村めぐりの森 (2014年11月23日)



第6回湘南国際村めぐりの森植樹祭 (2012年11月10日)
宮脇 昭先生(後列左から4人目)・高野義武理事長(右端)



高野理事長
高尾小仏植樹祭
(2018年9月24日)



B&G 財団植樹リーダー研修 高野理事長(左から2人目)
「しんわルネッサンス」にて (2013年5月9日)

愛する人のために
今残せるものは緑なのです。

生態学的な共生とは、競争しながら少し我慢して共に生きること。
全て満足すると駄目になる！



2

自然の森は色々な種類が混ざり合っている。
仲の良いものだけ集めても駄目！人間社会も同じ。まぜる、まぜる、まぜるんです！

本物は、厳しさに耐えて長持ちするもの！

生きていることは天文学的な奇跡。
少々のことであっても絶対にあきらめない！
やらずにあきらめないで、やりながら考える！

宮脇昭先生を追悼し、先生が生涯を通じて実践された潜在自然植生理論に基づく「いのちの森づくり」のノウハウを取り纏めた書籍「九千年の森をつくろう！～日本から世界へ」(宮脇方式の森を発展させる会=編:藤原書店/2022年4月)が刊行されました。

先生が「森づくり」を通じて発信続けた理念・思想・哲学をレビューするものです。宮脇方式(混植・密植)による森づくり活動の事例や、先生にご指導を仰ぎ親交のあった多くの方々からの寄稿文、世界で報じられた追悼記事、先生の名言集、そして、宮脇方式による植樹地データ等を収録しています。

誠に光栄なことに、進和学園「いのちの森づくり」プロジェクトに関連し、研進(進和学園の窓口会社)スタッフの寄稿文も掲載されました。以下、同書に掲載された文章を一部編集して転載させていただきます。



「いのちの森づくり」が日本の福祉を変える！

株式会社 研 進 (障害者就労支援団体)

代表取締役 出縄 貴史

■ 進和学園から世界へ！

「いのちの森づくり～〇〇から世界へ～」宮脇昭先生がご指導される植樹活動には、「〇〇から世界へ！」というサブタイトルが付されます。社会福祉法人進和学園の福祉工場「しんわルネッサンス」植樹祭(2006年4月、4,888本)、生活介護施設「進和万田ホーム」植樹祭(2009年6月、3,440本)も同様でした。当初、「進和学園から世界へ」という副題が、地味な福祉施設にとって、あまりに大袈裟で不釣り合いに感じたものです。

進和学園における「いのちの森づくり」は、2006年秋、ボランティアの「まじえる会」の皆様の熱意あるご指導を受けて湘南平(平塚市)で行ったドングリ拾いが最初です。主に知的障害のある方達の日中作業の一環として、ドングリや木の実を集め、ポット苗を栽培し始めました。ドングリから根が出て、やがて芽吹く様子を目の当たりにして、命の尊さや自然の大切さを学びました。

活動のシンボルとして「いのちの森づくり～進和学園から世界へ～」のノボリを作成し、事あるごとに掲げるようになりました。全国植樹祭、湘南国際村、秦野市での植樹、静岡県掛川市の時ノ寿の森における森林再生、東北被災地や遠州灘における「いのちを守る森の防潮堤」等、私達が育てた苗木も多数ご利用頂けるようになり、植樹イベントには積極的に参加しました。福祉施設から外へ出て大勢の方々と触れ合い交流する機会が生まれました。福祉の世界は、どうしても閉鎖的で社会との断絶が生じてしまうのですが、「森づくり」を通じた社会参加の広がりは、新鮮な驚きでもありました。



宮脇昭先生と 湘南国際村めぐりの森
(2014.11.23)

進和学園の「どんぐりハウス」(圃場)には、宮脇先生が直々にご視察されご指導を仰いだこともあります。植樹活動に関係する多くの皆様が見学に来られましたが、何と、先生の一声で海外からJICA研修生を受け入れ、皆で英語のプレゼンテーションを練習してお迎えしたこともあります。新聞やテレビの取材も受けました。日本テレビの特集では、宮脇先生の植樹に傾倒されていた小林麻央さんが学園へ来訪され、一緒にポット苗づくりを行うシーンが放映されたり、テレビ神奈川のニュース番組に学園メンバーが生出演して「いのちの森づくり」を紹介したこともあります。その傍らには、いつものノボリがありました。「進和学園から世界へ」というスローガンは、文字通りの輝きを発し始めたのです。

■ 「どんぐりブラザーズ」と描く未来

2008年、「いのちの森づくり友の会」基金を発足させ、福祉・環



進和学園「どんぐりハウス」(2018.4.16)

境・教育・労働の連携を目指す私達の活動の趣旨に賛同頂ける個人・団体・企業様より広くご支援を頂けるようになりました。皆様のご厚意による基金は、公共スペースへの苗木寄贈による植樹活動を支え、苗木の栽培や植樹地の保全のための育樹(除草)作業を、福祉施設利用者の工賃に還元することを可能とし、障害者の自立・就労支援にも大きく貢献しています。



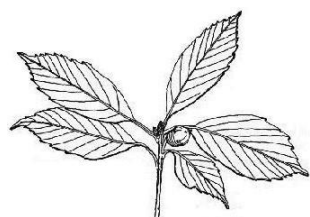
「どんぐりブラザーズと植樹大作戦～湘南国際村めぐりの森～」(2014.11.23)

「進和学園から世界へ」というスローガンの延長線上には、「どんぐりブラザーズ」と描く未来が拓けるものと確信しています。「いのちの森づくり」が日本の福祉を変える！生意気ですが、その意気込みでチャレンジして参ります。

今では、進和学園のみならず、育苗連携をはじめ他の福祉施設との協働による「どんぐりブラザーズ」活動に発展、12 施設(寄稿時の2021年12月)による「森づくりチーム」が活躍しています。障害のある方々にディーセント・ワーク(Decent Work:働き甲斐のある人間らしい仕事)をもたらしています。

「自然の森は色々な種類が混ざり合っている。仲の良いものだけ集めても駄目。人間社会も同じ。混ぜる。混ぜる。…」という宮脇先生の教えは、ハンデを有する人々にも勇気を与えてくれます。お互いの個性を尊重し切磋琢磨し、競争しながらも少し我慢して共に生きるという「多様性」と「共生」の理念を分かり易く伝えてくれます。

私達が推進する「いのちの森づくり」の使命は、「森づくり」を通じた「人づくり」です。



宮脇先生と私

株式会社 研 進 (障害者就労支援団体)

いのちの森づくりプロジェクトリーダー 加藤 ナルミ



■ 沙漠に木を植える

沙漠の生態系が甦れば、地球温暖化、エネルギー問題、途上国の経済問題、人口問題など、地球を取り巻く多くの問題が解決する可能性がみえてきます。学生時代、沙漠緑化に魅了され、卒業制作で「沙漠を緑化するための集落」を計画して以来、木を植えることが私のテーマになりました。

当時、希望に胸を膨らませ沙漠緑化ツアーに参加すると、理想と現実の大きな乖離を感じました。沙漠に植えた木は到底根付くとは思えず、環境問題の深刻さに直面しました。

しかし宮脇先生は沙漠に生態系を蘇らせる偉業を成し遂げられ、森づくりの根幹となる「潜在自然植生」の概念で世界に木を植えている。数々の目覚ましい功績に明るい未来の兆しを感じました。

■ 宮脇先生の言葉

「木を植えることは、命を植えること。明日を植えること。一人一人の心に木を植えること。後世につづく命を守るために、木を植えよ」宮脇先生の言葉を耳にするたび「私もやります」と心に誓っていました。

宮脇先生の森づくりに感銘を受け、建設業界で森づくりを模索していた時期もありました。建築現場の斜面の土留めに宮脇方式の植樹を検討したり「都市林(アーバンフォレスト)構想」を会社に提案したりしましたが、熱意だけが空回り。そんな時、NPO法人レナフォの「植生工学士」資格取得のための自然林再生専門家研修を見つけたのです。当時、週末も仕事があり、子供は小さく、時間と費用を捻出するのが大変でしたが、意を決して申し込み、宮脇先生の講義を受講しました。その時、目が釘付けになった先生の言葉があります。

「少々のことがあっても、大変だなんて考えないでもらいたい。とにかく前向きに考える。絶対にあきらめない。やらずに心配しないで、やりながら考えてもらいたい」ガツンと喝を入れられたようでした。今でも私はこの言葉に奮起し、氣迫に支えられています。





■ ふるさとの木によるふるさとの森づくり

森づくりに関して「何か自分にできることはないか」と自身に問いかけていると、周囲から、「苗木はあるけど、植えるところがない」と、口々に打ち明けられるようになりました。

現在、私が所属する株式会社研進は、社会福祉法人進和学園と共に「いのちの森づくり」に取り組んでおり、障害のある方々と一緒にどんぐりや木の実からポット苗を栽培しています。只今、進和学園で育てている苗木は約80種類4万本。まさに苗木はあるけど、植えるところがない状況です。「森づくりをしたいが、お金がない」そんな声も聞こえてきます。公共の場所でしたら「社会福祉法人進和学園いのちの森づくり友の会」の基金を活用して苗木を寄贈することも可能です。植樹祭の企画・植樹リーダー養成でしたら、NPO法人レナフォがお力になります。

さらに宮脇方式を継承なさる諸先生方と各種団体ネットワークで構成される「いのちの森づくり 2020プラス1未来へ」が、宮脇方式の森づくりのプロセスと成果を世界に向けて発信しています。

私共でお役に立てますことがありましたら是非お声がけください。

宮脇先生はおっしゃっていました。「明日からでは遅すぎる。今このときから、未来へ向かって、世界に向けて、共に木を植えていこうではありませんか」と。



■ いのちの森づくり

2017年から高尾小仏(東京都八王子市裏高尾町)で、「いのちの森づくり」を開催することが決まりました。植樹地は、中央高速道路の小仏トンネルの工事残土による9,000㎡程の盛土場で、土地の所轄は、中日本高速道路株式会社様(NEXCO中日本)。研進代表の出縄と開拓し、植樹祭の主催をNPO法人レナフォが引き受けました。

この「高尾小仏植樹祭」は、企業(NEXCO中日本 他数社)、地方自治体(東京都環境局・八王子市)、非営利団体(レナフォ)、福祉(進和学園 他3施設)、市民の連携によって開催され、様々な業態の団体が協働で環境課題に取り組む意義深いものです。

2021年までに植樹した苗木は累計17,090本、(38樹種) 総面積5,069㎡。これまで苗木が何度も獣害や台風の被害でなぎ倒され、夏場はジャングルのようにツル性植物に覆われましたが、苗木の救出にご尽力くださった皆さまのお陰で、荒涼とした大地に生命の息吹が戻って参りました。

■ 宮脇先生と私達

最後に宮脇先生と言葉を交わした数少ないエピソードを書き留めさせていただきます。

2017年6月、つくばの植樹祭の帰りに先生の療養先にお伺いした時のこと、植樹祭の報告をして写真を撮ることになりました。にこやかな宮脇先生の隣にしゃがみ「左手を繋いでいただけますか」とお願いすると「ご随意にどうぞ」と思いもよらない言葉が返ってきて笑い転げてしまった思い出の写真です。紹介させていただきます。

(撮影・安西裕氏)



宮脇先生と共に／左：旗野恵子さん・左上：浦田未央さん
右上：大久保信子さん・右下：加藤ナルミ

宮脇昭先生を偲ぶ会

2022年4月24日(日)、「宮脇昭先生を偲ぶ会」が、レンブラントホテル厚木(神奈川県厚木市)において開催されました。

先生の偉大なご功績を称え、約160名の皆様が参集されました。先生にご指導を仰ぎ、また、親交のありました皆様、学会、行政、教育、企業、ボランティア…各界より大勢が臨席され先生に感謝し追悼の念を捧げました。

会場に掲げられた先生のお写真を取り囲むように、進和学園で栽培した苗木を飾らせて頂きました。先生がご存命であれば94才になられることから、シイ・タブ・カシ類…色々な種類のポット苗を混ぜて94本を用意し、先生のご冥福をお祈り申し上げました。(合掌)

ステージ上の宮脇先生のお写真と共に飾られた進和学園栽培のポット苗 ▶



2021 年度 活動TOPICS

「宮脇昭追悼植樹祭ーいのち(鎮守)の森を世界にー」

2021 年 10 月 30、31 日、神奈川県秦野市平沢向山において、宮脇昭先生の偉大な功績を称え、追悼する植樹イベントが開催されました。「いのちの森づくり 2020 ♫(プラス 1 未来へ)」及び出雲大社相模分祠が主催し、コロナ感染対策も踏まえ 2 日間に分けて実施。両日合わせ約 220 名がマスク着用で参加し、自然種の苗木 22 種類/1,500 本を植樹しました。

人類共通の課題である地球温暖化対策、そして、次世代に「いのち」を繋ぐ環境保全を目指した植樹を実践され、世界に訴え続けた宮脇先生の遺志を継承する取り組みです。進和学園はじめ「どんぐりブラザーズ」(福祉施設の森づくりチーム)が栽培した苗木を多数ご利用頂きました。

湘南国際村めぐりの森植樹祭／宮脇昭先生追悼植樹式



2021 年 11 月 7 日、第 21 回湘南国際村めぐりの森植樹祭が開催され、一般参加は事前登録制として募った結果、当初予定を大きく上回る 200 名以上の皆様が応募下さり、スタッフも含め約 250 名が集いました。マスク着用・検温等のコロナ感染対策を講じながら、広葉樹 44 種類 1,103 本を植樹しました。開会式等のセレモニーは省き、各班 20 名が揃い次第、順次、作業を開始。全 10 区画の植樹地も、奇数番号から割振り、偶数番号とは時間差を設ける等の工夫を凝らしました。

午後からは、宮脇昭先生を追悼する植樹式が、プロジェクト・メンバー有志により行われました。宮脇先生への感謝と先生の遺志を継いで行くことの決意も新たに、先生のお年と同じ 93 本の苗木を植樹しました。(写真:宮脇昭先生追悼植樹式)



新東名秦野丹沢植樹祭 2021

2021 年 12 月 11 日、新東名高速道路の丹沢スマート IC アクセス道路斜面において、「ふるさとの木によるふるさとの森づくり／新東名秦野丹沢植樹祭 2021」が開催されました。道路斜面に、自然の森を創り環境保全と防災に活かそうとする取り組みです。

宮脇方式(混植・密植)による植樹を推進する NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会及び「いのちの森づくり 2020 ♫(プラス 1 未来へ)」が主催し、出雲大社相模分祠が共催、中日本高速道路(株)他が協賛、秦野市が後援すると共に、進和学園いのちの森づくり友の会も苗木の提供等に係わる協力者として参画しました。

コロナ禍が一定の落ち着きを見せる中で天候にも恵まれ、300 名以上が集いました。36 種類 3,394 本の苗木を植樹。地球温暖化や異常気象対策として宮脇方式(Miyawaki Method)による植樹は世界からも注目されています。最新の技術を結集させた交通の要所が自然の森と共存する姿は、日本の明るい将来を照らす道標になるのではないのでしょうか？



▲植樹祭の準備作業を行なう福祉施設の仲間達
(2021.12.9)

東京藝大「Geidai Hedge6」に苗木提供！

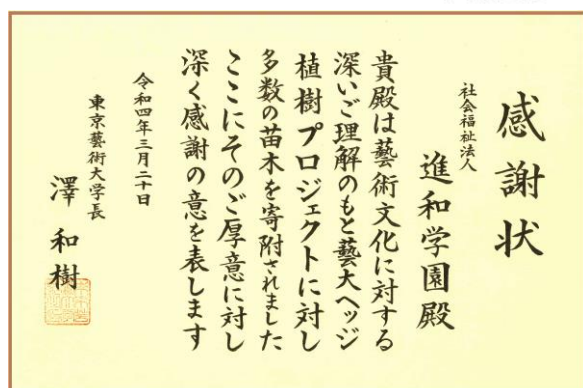
東京藝術大学が推進する「Geidai Hedge」は、大学沿道の老朽化した鉄のフェンスを武蔵野在来の植生を施し四季の表情豊かな混植垣栽に置き換えるという植樹プロジェクトです。

2018 年より進和学園が栽培した苗木を多数ご利用頂いています。

コロナ禍に伴い、今春企画された「Geidai Hedge 6」も、学生・教職員・関係者による植樹を行いました。今回、715 本の苗木を寄贈させて頂きましたが、誠に光栄なことに「感謝状」を拝受し、私共にとりましても感動の植樹イベントとなりました。



▲東京藝大「Geidai Hedge6」(2022.3.20)



急斜面での植樹に挑戦！～ 湘南国際村めぐりの森&高尾小仏 ～

私達の大切な活動拠点である湘南国際村と高尾小仏、バブル期の開発により荒地となっていた湘南国際村(B・C 地区)は、「めぐりの森」と称して 2009 年から毎年、宮脇先生のご指導の下に植樹祭を開催して来ました。一方、高尾小仏は、中央高速道路の小仏トンネルの工事残土から成る巨大な盛土場を防災・治安の観点も踏まえ、自然の森を創生しようと 2017 年から国際ふるさとの森づくり協会(レナフォ)が率いて植樹を継続。何れも、その土地に適合する広葉樹を混植・密植するものです。進和学園はじめ「どんぐりブラザーズ」が栽培した苗木を優先的に利用頂いており、また、育樹(除草)作業は、障害のある方々の貴重な就労機会にもなっています。



左: 第 20 回湘南国際村めぐりの森植樹祭
44 種類3, 000本を植樹! (2021.5.9)



上・右 高尾小仏植樹祭 2021
20 種類3, 300本を植樹! (2021.10.10)



2021 年度の植樹地は、両拠点共にかなりの急斜面でした。苗木や稲わら(マルチング材)を運ぶのも一苦労。足を滑らせないように身構えバケツリレーで運びますが、コロナ感染対策もあり私語を控えて黙々と作業する中で、いかにチームワークを発揮するかも考えねばなりません。それでも、皆で力を合わせて目標通りの植樹を行い達成感に浸りました。

子供たちに豊かな情操と学びを！～ 教育との連携 ～

■ 楽しい「ポット苗づくり」(花水わくわく教室)



2021 年 5 月 15 日、花水地区町内福祉村(神奈川県平塚市)主催の「花水わくわく教室」として、子供達のための「ポット苗づくり」体験イベントが開催されました。

進和学園 & 研進スタッフは、当日の運営をお手伝いさせて頂きました。最初に「どんぐりのなる木を育てよう」と題して木や森の基礎知識を学びます。木の種類(広葉樹・針葉樹/常緑樹・落葉樹)をはじめ「自然の森」の役割として、二酸化炭素(CO2)吸収(光合成)や環境保全・防災に加え、食物連鎖や SDGs(持続可能な開発目標)にも及びました。

その後、2 班に分かれて「ポット苗づくり」体験と隣接の桃浜公園で「クイズをしながら樹木しらべ」を行いました。皆さん、大変熱心に参加下さり、楽しい一時を共有しました。

コロナ感染対策として、参加者を地元小学生と保護者 24 名以内に絞り、マスク着用で三密回避に留意して対応しました。

■ 「にのみや・どんぐりの森プロジェクト」

2021 年 11 月 20 日、神奈川県中郡二宮町の東京大学果樹園跡地(みらいはらっぱ)において、掲題プロジェクトが開催されました。

① どんぐりの土おろし(育苗箱へ蒔く作業) ② 「森のめぐみのクリスマスリース」作りに、小学生約 40 名が参加。光栄なことに、① について研進スタッフが講師を務めさせて頂きました。

まずは、「どんぐり」(アカガシ、シラカシ、アラカシ、スダジイの 4 種類)を観察。大きさや形も違う「どんぐり」に子供達は興味津々! 「最初に根が出て、春になると芽が出ます。根と芽はどんぐりの何処から出て来るかな?」3 年間育てたポット苗とも見比べて、一粒のどんぐりが大きく生長する様子をイメージしてもらいます。

「自然の森は、色々な種類が混ざり合っている。仲の良いものだけ集めてもダメ。人間社会も同じ…」という宮脇先生の言葉も紹介し、生物多様性の意義にも触れました。地球温暖化の原因である二酸化炭素(CO2)を吸収し命を守ってくれる「自然の森」の大切さについて子供達は、熱心に耳を傾けてくれました。

5 班に分かれて「どんぐりの土おろし」を実際に行ってもらいましたが、マスク越しに皆さんの笑顔が弾けました。



「いのちの森づくり」基金へのご支援に感謝！

皆様から頂いた会費・寄付金及び協賛金・助成金は、「いのちの森づくり」のための基金として、植樹活動を通じた自然環境保全、並びに進和学園をはじめ「どんぐりブラザーズ」として福祉施設で働くメンバーの工賃に還元される等、有効に活用させて頂いています。皆様の温かいご支援に厚く御礼申し上げます。

ご寄付・協賛ご芳名（5万円以上）	金額（ ）内累計	ご寄付・協賛ご芳名（5万円以上）	金額（ ）内累計
(株)サン・ライフホールディング 様 本田技研工業(株)様	100万円 (2,000万円) 100万円 (1,100万円)	(有)石田電設 様 ミドリ安全(株) 様	10万円 (90万円) 10万円 (85万円)
三機工業(株)様	79万 3,200円 (505万 8,100円)	親切会(日立グループ)様 日本生命労働組合平塚支部 様	10万円 (80万円) 10万円 (80万円)
ホットケーキパーラーFru-Full 様 (株)ホンダロジスティクス 様 (株)建新 様 社会福祉法人かながわ黎明会 様 (株)研進 様 くまざわ(株) 様	60万円 (410万円) 50万円 (300万円) 40万円 (70万円) 30万円 20万円 (455万円) 20万円 (80万円)	SMBC 日興証券藤沢支店 様 平塚信用金庫 様 (協賛) 野村證券平塚支店 様 赤津裕司 様 出縄雅之 様 須藤 亮 様	10万円 (50万円) 10万円 (30万円) 10万円 (13万円) 10万円 10万円 10万円
PGF 生命(プルデンシャルグループファイナンシャル生命保険)(株) 様	20万円 (60万円)	NPO 法人エコメッセ 様 (世田谷目黒運営委員会)	5万円 (135万円)
大和証券(株)渋谷支店 様 (株)ビクトール(モッチの樹プロジェクト)様	20万円 (40万円) 126,000円 (255,850円)	(株)ホンダプリモ神奈川南 様 (株)栄林堂印刷所様 (株)ゴバイミドリ 様 (株)荒井ベジラス 様	5万円 (92万円) 5万円 (51万円) 5万円 (28万円) 5万円 (25万円)
出縄貴史 様 林田雅之 様 「掛川銘茶」募金	12万円 12万円 112,000円 (976,200円)	出縄守英 様 木村俊介 様 高橋公子 様	5万円 5万円 5万円
ご寄付ご芳名（3万円以上:金額・五十音順）			
個人: 出縄文子様、出縄弘貴様、出縄典子様、出縄理沙様、出縄 愛様、加藤ナルミ様、久保寺一男様、熊坂助三様、瀧 叶実様、原田 雅様、土方富美子様、松浦弘樹様、松尾光隆様、松尾麻里様、宮入宏彦様、宮入美保様 団体: エスペックミック(株)様、(株)GOOD JOB様、「チャレンジF1」募金、進和職業センターを偲ぶ会様、太陽根っ子の会様、東海教育産業(株)様、ませ動物病院様、モク&ルーシー様、(株)リンクプロデュース様			
ご寄付ご芳名（1万円以上:金額・五十音順）			
個人: 石井申二様、磯部久美子様、岩下直子様、上野洋一様、出縄貴生様、出縄晴生様、出縄友輝生様、近江英彦様、金子一枝様、菊池陽子様、串山義勝様、倉林美佳様、小清水勝敏様、佐野静雄様、田嶋和貴様、露木 潔様、成瀬富子様、二瓶智枝子様、新川順子様、根本敏子様、羽塚順子様、古野貞昭様、三浦久恵様、望月敦子様、山田和弘様 団体: NPO 法人農ある暮らしを広める会様、(公財)かながわトラストみどり財団様、神奈川県立秦野曽屋高校様、進和学園・伊藤園自販機寄付金、湘南の風・伊藤園自販機寄付金、県央福祉会・伊藤園自販機寄付金、(株)湘南小巻ファーム様、菊友クラブ様、慶応大学オリジナルフォト様、(株)昭和保険事務所様、戸山高校写真班 OB 有志様、NPO 法人フレッシュベルカンパニー様、(社福)よこすか黎明会横須賀ヘーメット様、NPO 法人パソボラサークル様、平塚ロータリークラブ様、ラムの会様			

(株)サン・ライフホールディング様へ御礼訪問



▲ (株)サン・ライフ社長の比企武様(左から2人目)と事務局の福村様(右)とご一緒に (2022.4.25)

コロナ禍においても、継続して多額のご寄付を賜っています。

【サン・ライフ様からのご寄付を活用した植樹実績】

29ヶ所累計 **44,311本** (2022年3月末)

本田技研工業(株)様のご支援



▲ Honda 人事部門の皆様「しんわネットサンス」ご視察 (2022.4.12)

Honda 車部品の組立は、進和学園での仕事の中核を占め 48 年目を迎えています。Honda 様のご支援は、社内での菓子類販売をはじめ「いのちの森づくり」にも及んでいます。

三機工業(株)様による植樹・育樹ご支援！

三井グループの総合設備建設会社である三機工業(株)様は、CO2 削減に資する「SANKI YOU エコ貢献ポイント制度」を運営され、支援対象に私達が取り組む「湘南国際村めぐりの森」における活動を選定頂いています。

2017 年からこれまでに、505 万 8,100 円をご寄付頂き、5,962 本の植樹が実現。

(2022 年 3 月末現在) 育樹作業も合わせご支援頂いています。

◀ 苗木を搬入(2021.5.15)



モチの樹プロジェクト(望月優花様)との連携



▲モチの樹プロジェクト&どんぐりブラザーズ ミニ植樹祭 湘南国際村めぐりの森 (2021.10.15)

アマチュアトップゴルファーの望月優花様とお仲間による「モチの樹プロジェクト」と「どんぐりブラザーズ」とのコラボによる植樹活動を継続しています。

ゴルフは、森林や自然に負荷を掛けているとの認識からチャリティーゴルフを企画し、その収益から障害のある方々が育てた苗木をご利用頂いています。

親切会様 植樹地ご視察&進和学園ご慰問！

日立グループ各社様が中心に運営されている親切会様は、毎年、私達が手掛けた植樹地を実際にご視察の上、進和学園もご慰問下さりご寄付を賜っています。進和学園メンバーは、親切会様との交流を毎年、楽しみにしています。



▲親切会様ご慰問 「しんわルネッサンス」中庭にて(2021.12. 2)

Fru-Full 食べて 森づくり！

Fru-Full(フルフル)様は、老舗のレシピを伝えるホットケーキパーラー。作家の池波正太郎も愛したという優しい味は格別！売上の一部を「いのちの森づくり」にご寄付頂いています。

また、進和学園が運営するホットケーキパーラー「湘南リトルツリー」のご指導も賜っています。



▲Fru-Full 川島マスターと其田シェフのご指導に感謝！(湘南リトルツリー)

横浜ゴム(株)様との連携／苗木ご寄贈に感謝！

横浜ゴム(株)様は、「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトにて、社員の皆様が苗木栽培を行い、国内外事業所での植樹に加え地域への苗木提供活動を進めておられます。

同社保有の余剰苗木を進和学園に寄贈頂き私達が栽培を引き継がせて頂く連携は 12 年目を迎えました。これまで、平塚製造所様をはじめ茨城・新城工場様他からもご寄贈頂いています。

横浜ゴム様と進和学園との連携から、森づくりを通じた環境保全、並びに苗木の栽培に励む障害者の就労支援に貢献できることは大変意義深いことと嬉しく思います。CSR(企業の社会的責任)及び SDGs(持続可能な開発目標)の観点からも、心より敬意を表すると共に感謝申し上げる次第です。



▲横浜ゴム(株)平塚製造所様にて(2021.4.27)

横浜ゴム(株)様からの苗木ご寄贈・植樹実績 (2010 年～2022 年 3 月末現在)

- ・ご寄贈実績 : 44, 633 本
- ・植樹本数 : 39, 425 本 (植樹事案 232 件)

ポット苗ご購入・育樹作業ご発注に感謝！

2021 年度に下記の皆様にポット苗(100 本以上)のご購入／育樹・保全等作業のご発注を賜りました。

	ポット苗ご購入者様(敬称略)	2021 年度本数	累計本数
1,000 本以上	NPO 法人国際ふるさと森づくり協会(レナフォ) (イオン環境財団他／高尾小仏植樹祭関連)	2,566	11,623
	中日本高速道路(株)(新東名丹沢秦野関連) ＜大島造園土木(株)を通じてご発注＞	2,029	2,029
	東京都豊島区「グリーンとしま」再生プロジェクト	1,028	19,738
500 本以上	(株)ゴバイミドリ(里山ユニット用)	500	2,666
300 本以上	エスペックミック(株) (森の防潮堤協会～宮城県岩沼市千年希望の丘～)	453	21,189
	エスペックミック(株) (NPO 法人ピースウインズジャパン～広島県神石高原町～)	222	
	公益財団法人鎮守の森のプロジェクト (湘南国際村めぐりの森植樹祭関連)	444	16,605
	いのちの森づくり 2020 プラス1 未来へ (仲介: 出雲大社相模分祠)	444	666
	朝日新聞「地球教室」(1 年生苗)	402	25,146
	三井住友海上火災保険(株)	400	3,850
100 本以上	一般社団法人 Silva	251	1,432
	湘南国際村めぐりの森混植・密植グループ	222	
	NPO 法人時ノ寿の森クラブ	154	
	しまむらストア販売会	107	
	シバタ植物園 (規格外の余剰苗木ご利用)	100	1,606

「グリーンとしま」再生プロジェクト 官公需の優先発注

東京都豊島区では、人口密度日本一の地域に緑を増やす「グリーンとしま」再生プロジェクトを推進されています。植樹の他、区民への苗木配付を通じた緑化・啓蒙活動も行っています。

自宅でも育て易い自然種の低木(ジンチョウゲ、マンリョウ、ナンテン等)を中心に、福祉施設で育てた苗木を優先して発注下さっています。

【豊島区からの苗木ご発注】

2021 年度: 1,028 本
累計: 19,738 本

▲としまセンタースクウェア
苗木の配付 (2021.11.20)



朝日新聞「地球教室」12 年連続で苗木ご利用！

小学生高学年向けの教材として定評のある朝日新聞の「地球教室」については、「環境新聞」の参加賞として、12 年連続で進和学園栽培のポット苗(1 年生苗)をご利用頂いています。

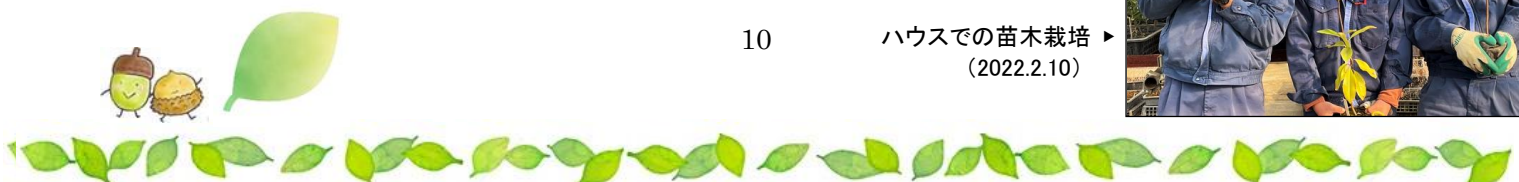


【朝日新聞「地球教室」苗木のご利用】

2021 年度: 402 本 累計: 25,146 本

【 育樹・除草・環境保全作業(「いのちの森づくり」関連の施設外就労)のご発注 】

ご発注者様(敬称略)	作業場所(施設外就労場所)	主な作業者(どんぐりブラザーズ)
(株)トヤマ	本社・工場構内植樹地(神奈川県山北町)	(社福)足柄みどりの会コスモス学園
(株)しまむら	スーパー「しまむら」各店舗緑地帯	(社福)進和学園しんわルネッサンス
公益財団法人 神奈川県公園協会	苗木栽培ハウス(神奈川県平塚市) ～植樹用苗木の栽培作業～	同上
(株)ゴバイミドリ	「5×緑 BASE」(里山ユニット製作ハウス) (神奈川県平塚市)	同上
(株)フリーデン	本社・工場敷地植栽地(神奈川県平塚市)	同上
上野 洋一	ご自宅植栽地(神奈川県平塚市)	同上



「いのちの森づくり」関連の「施設外就労」～働く場の確保に向けて～

企業から仕事を請け負い、障害者が発注企業へ出向いて仕事を行なう「施設外就労（企業内就労）」は、障害者本人にとって一般就労に近い環境で就労する機会が得られ、工賃確保の観点からも有利で期待されています。

福祉施設の職員が引率しチームを組んで働き甲斐に満ちた日中活動に励むケースが増えていますが、私達も「いのちの森づくり」に関連し、以下のような仕事に従事しています。

貴重な仕事をご発注下さっている各企業様に、心より感謝申し上げます。

（株）トヤマ様 社屋・工場植樹地の育樹・環境保全作業

放射光関連機器メーカーの同社工場（神奈川県山北町）には、宮脇昭先生のご指導により混植・密植方式により植樹を行い素晴らしい森が創生されています。進和学園の苗木も多数ご利用頂いていますが、植樹地の育樹（除草）及び工場敷地内の清掃や環境整備の仕事を障害のある方々にご発注頂き、（株）研進が仲介して（社福）足柄緑の会コスモス学園の皆さんが定期的に作業に励んでいます。

トヤマ様の工場敷地で作業を行う足柄緑の会コスモス学園の皆さん（2021.5～6月）▲



（株）ゴバイミドリ様 「里山ユニット」製作の請負

「里山ユニット」は、里山の風景や自然を身近に楽しめる緑化ユニットで、日本本来の苗木を組み合わせで作ります。幸いにも、（株）ゴバイミドリ様の作業ハウスが、進和学園の「どんぐりハウス」の隣接地に開設されたことから、同ユニットの製作を学園の「どんぐりグループ」メンバーが請負わせて頂き、働き甲斐に満ちた充実した日中作業に従事しています。



左：（株）ゴバイミドリ様の作業場「5×緑 BASE」

中：「里山ユニット」研修（2021.4.20）

右：「里山ユニット」製作（2021.4.20）

（株）フリーデン様 新工場の植栽・育樹作業

（株）フリーデン様は、企業養豚のパイオニアとして、美味しい「やまと豚」のブランドで全国的に有名です。

同社は、平塚市内の新工場の建設に伴い、工場敷地の植栽工事を進和学園に優先発注下さいました。

2020 年秋に、社員の皆様と共に記念植樹を行い、工場の建設の進展に合わせ、順次、植樹を進めると共に、定期的な育樹（除草）及び保全作業を仕事としてご発注下さっています。



▲（株）フリーデン様の新工場
植栽の育樹・保全作業（2021.7.23）

（株）しまむら様 スーパー店舗緑地帯の手入れ

平塚市の有名スーパー「しまむら」様からは、市内11店舗のバックヤード業務を請負い、進和学園より3チームが店舗へ赴き様々な業務に従事しています。地域に密着した仕事は、障害のある方々の「働く喜び」「役立つ喜び」に直結しています。進和学園における作業種の中でも工賃還元率が高く注目されています。

店舗や駐車場周囲には、進和学園で育てた苗木と手作りの陶板や鉢植えを組み合わせた緑地帯を設けて、定期的な草むしりや手入れも仕事としてご発注頂いています。

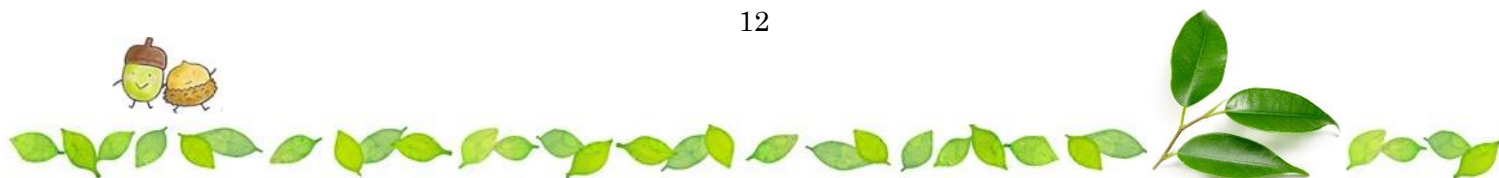
しまむら様は、障害者雇用促進法の特例調整金（国の発注奨励策）を、スーパー業界で初めて適用され福祉面でも大きく貢献されています。



▲スーパー「しまむら」様（長持店・中里店）での植栽の手入れ

「いのちの森づくり友の会」基金 2021 年度活用実績

No	日 程	植樹・育樹・社会参加活動内容	金額(円)／相対団体(敬称略)
1	4月～9月 (随時)	春夏の育樹(除草・剪定)～学校の森づくり／その他平塚市内・近隣地～ ・場所: 平塚市その他近隣の学校・公園・道路側道・防潮林植樹地 ・備考: 下記企業様からのご協賛・ご寄付を活用させて頂きました。 平塚信用金庫様(協賛)、くまざわ(株)様、(有)石田電設様、東海教育産業(株)様、本田技研工業(株)様、(株)ホンダロジスティクス様、(株)ホンダブリモ神奈川南様、日本生命労働組合平塚支部様	450,932円 各学校・公園 神奈川県平塚土木事務所
2	4月 8日 5月13日 6月 9日 8月31日 11月 3日 12月 3日 3月 9日 (納品日)	浜松市「～KALA プロジェクト」防潮森づくり 苗木提供 ・場所: 静岡県浜松市 遠州灘 ・樹種・本数: 高中低木 14 種類 320 本(4/8)、14 種類 160 本(5/13)、14 種類 160 本(6/9)、14 種類 160 本(8/31)、14 種類 160 本(11/3)、14 種類 160 本(12/3)、14 種類 160 本(3/9)、合計 1,280 本 ・備考: 下記企業様からのご寄付を活用させて頂きました。 本田技研工業(株)様 400 本、ホットケーキパーラー Fru-Full 様 360 本、(株)ホンダロジスティクス様 200 本、(株)サン・ライフ様 160 本、その他 160 本	697,440円 静岡県浜松市 縄文楽校 他
3	4月～12月 3月 (22日)	湘南国際村めぐりの森 育樹・補植・その他作業 ・場所: 湘南国際村めぐりの森(神奈川県横須賀市) ・作業: 育樹(除草)・植樹・補植 4 種類 40 本(4/23)、8 種類 100 本(5/14)、8 種類 100 本(6/11)、7 種類 60 本(6/18)、7 種類 40 本(12/10) ・樹種・本数: 高中低木 合計 340 本 ・備考: 下記企業様からのご寄付を活用させて頂きました。 三機工業(株)様 160 本、ホットケーキパーラー Fru-Full 様 140 本、その他 40 本	605,495円 神奈川県／横須賀市 協働参加型 めぐりの森づくり推進会議
4	4月30日 (大広場除草) 5月 7日 (準備作業) 5月 9日 (植樹祭)	第 20 回湘南国際村めぐりの森植樹祭 ・場所: 湘南国際村めぐりの森(神奈川県横須賀市) ・作業: ①大広場除草 ②苗木運搬・納品、仕分け等準備 ③植樹祭参加 ・樹種・本数: 高中低木 合計 1,634 本 ・備考: 下記企業様からのご寄付を活用させて頂きました。 (株)サン・ライフ様 800 本、三機工業(株)様 500 本、本田技研工業(株)様 200 本、(株)ホンダロジスティクス様 100 本、ホットケーキパーラー Fru-Full 様 34 本	874,041円 神奈川県／横須賀市 協働参加型 めぐりの森づくり推進会議
5	4月～12月 3月 (42日)	掛川地区 育樹(除草)作業 ・場所: 静岡県掛川市／時ノ寿の森、沖之須防潮林 ・備考: ①NPO 法人時ノ寿の森仲介／草苗の会だいう作業所と連携実施。 ②下記企業様他からのご寄付を活用させて頂きました。 本田技研工業(株)様、(株)ホンダロジスティクス様、(株)ホンダブリモ神奈川南様、(株)建新様、くまざわ(株)様、日本生命労働組合平塚支部様	1,343,184円 静岡県掛川市 NPO 法人時ノ寿の森クラブ
6	5月 7日 8月21日 3月11日	開智学園 補植用ポット苗&資材(稲わら)提供 ・場所: 開智学園 校庭(埼玉県さいたま市岩槻区) ・樹種・本数: 高中木 520 本(5/7:100 本引渡し、8/21:20 本補植、3/11:400 本引渡し／マルチング材の稲わら提供) ・備考: 苗木は、ホットケーキパーラー Fru-Full 様からのご寄付を活用して提供させて頂きました。	315,600円 開智学園
7	5月15日	花水地区町内福祉村「ポット苗づくり」体験イベント(花水わくわく教室) ・場所: 花水公民館(平塚市) ・作業: ①講座「どんぐりのなる木を育てよう」②ポット苗づくり(シラカシ・スダジイ・タブノキ)③クイズをしながら樹木さがし(桃浜公園) ・備考: ポット苗 3 種類×10 組/30 本を自宅に持ち帰り栽培頂くこととしました。	34,482円 花水地区町内福祉村(平塚市)
8	5月22日	掛川市 希望の森づくり「潮騒の杜」植樹祭 ・場所: 静岡県掛川市大淵地内海岸防災林 ・樹種・本数: 7 種類 1,880 本 ・備考: ①主催: 掛川市、NPO 法人時ノ寿の森クラブ 他 ②下記企業様からのご寄付・ご協賛により苗木を提供させて頂きました。 (株)サン・ライフ様 800 本、本田技研工業(株)様 500 本、(株)ホンダロジスティクス様 200 本、ホットケーキパーラー Fru-Full 様 200 本、(株)建新様 100 本、くまざわ(株)様 80 本	890,000円 静岡県掛川市 NPO 法人時ノ寿の森クラブ
9	5月24日 11月12日	東海大学いのちの森づくりプロジェクト 育樹・補植 ・場所: 東海大学・湘南キャンパス ・樹種・本数: 低木 4 種類 20 本(5/24)(11/12 は育樹のみ) ・備考: ①(株)リンクプロデュース様の仲介により実施。 ② No.1 記載の企業様からのご協賛・ご寄付を活用させて頂きました。	195,078円 東海大学(湘南キャンパス)





10	5月29日 6月22日 7月6日 9月26日	高尾小仏 育樹(手直し・除草)・補植 ・場所: 高尾小仏植樹地(東京都八王子市裏高尾町) ・作業: ①育樹 ②補植 19種類 100本(6/22)、③補植 12種類 100本(7/6) ・樹種・本数: 高中低木 合計 200本 ・備考: ①5/29は、国際ふるさとの森づくり協会(レナフォ)主催 ②6/22の補植100本は、(株)サン・ライフ様のご寄付を活用させて頂きました。	472,423円 NPO 法人 国際ふるさとの森づくり協会 中日本高速道路(株)
11	6月8日 (納品日)	岩沼市 千年希望の丘 苗木提供 ・場所: 宮城県岩沼市千年希望の丘(東北被災地「いのちを守る森の防潮堤」) ・樹種・本数: 高中低木 664本 ・備考: 下記企業様からのご寄付を活用させて頂きました。 (株)サン・ライフ様 362本、ホットケーキパーラー Fru-Full 様 191本、環境まちづくり NPO エコメッセ様 111本	389,000円 宮城県岩沼市 一般社団法人森の防潮堤協会
12	7月15日 11月18日	「サン・ライフの杜」育樹(除草・剪定・清掃) ・場所: 神奈川県小田原市久野「サン・ライフの杜」 ・備考: 「かながわ森林再生 50年構想」に基づく活動	34,640円 (株)サン・ライフ
13	9月～ (随時)	秋冬の育樹(除草・剪定)～学校の森づくり／その他平塚市内・近隣地～ ・場所: 平塚市その他近隣の学校・公園・施設・道路側道・防潮林 ・備考: No.1 記載の企業様からのご協賛・ご寄付を活用させて頂きました。	378,880円 各学校・公園 神奈川県平塚土木事務所
14	10月8、9日 (準備) 10日 (植樹祭)	高尾小仏植樹祭 2021 ・場所: 東京都八王子市裏高尾町(都立高尾陣場自然公園内) ・作業: ①苗木納品 ②植樹祭準備作業 ③植樹祭参加 ・樹種・本数: 高中低木 734本 ・備考: ①国際ふるさとの森づくり協会(レナフォ)主催 ②下記企業・団体様のご寄付を活用させて頂きました。 PGF 生命保険(株)様 444本、環境まちづくり NPO エコメッセ様 111本、 本田技研工業(株)様 100本、ミドリ安全(株)様 79本	597,700円 NPO 法人 国際ふるさとの森づくり協会 中日本高速道路(株)
15	10月15日	第3回モッチの樹プロジェクト&どんぐりブラザーズ ミニ植樹祭 ・場所: 湘南国際村めぐりの森(神奈川県横須賀市) ・樹種・本数: 高中低木 22種類 360本 ・備考: 下記団体・企業様からのご寄付を活用させて頂きました。 一般社団法人 MDRT 日本会議様: 222本、ホットケーキパーラー Fru-Full 様: 138本	226,240円 神奈川県・横須賀市 協働参加型 めぐりの森づくり推進会議
16	10月29日 (準備) 10月30、31日 (植樹祭2日間)	宮脇昭追悼植樹祭～いのち(鎮守)の森を世界に～ ・場所: 神奈川県秦野市平沢向山 ・作業: ①苗木納品 ②植樹祭準備 作業 ③植樹祭参加 ・樹種・本数: 高中低木 1,056本 ・備考: ①いのちの森づくり 2020へ、出雲大社相模分祠 主催 ②下記企業・団体様のご支援ご協賛により苗木を提供。 本田技研工業(株)様 300本、(株)建新様 200本、(株)ホンダロジスティクス様 200本、くまざわ(株)様 150本、ミドリ安全(株)様 100本 他	599,600円 いのちの森づくり 2020へプラス1未来へ 出雲大社相模分祠
17	11月5日 (準備) 7日 (植樹祭・植樹式)	第21回湘南国際村めぐりの森植樹祭&宮脇昭先生追悼植樹式 ・場所: 湘南国際村めぐりの森(神奈川県横須賀市) ・作業: ①苗木運搬・納品、仕分け等準備 ②植樹祭参加 ・樹種・本数: 高中低木 合計 808本 ・備考: 下記企業様からのご寄付を活用させて頂きました。 三機工業(株)様 250本、本田技研工業(株)様 200本、(株)建新様 150本、 (株)ホンダロジスティクス様 150本、その他 58本	444,620円 神奈川県／横須賀市 協働参加型 めぐりの森づくり推進会議
18	12月 8、9、10日 (準備) 12月11日 (植樹祭)	新東名秦野丹沢植樹祭 2021 ・場所: 新東名秦野丹沢スマートIC アクセス道路斜面 ・作業: ①苗木納品 ②植樹祭準備作業 ③植樹祭参加 ・樹種・本数: 高中低木 184本 ・備考: ①国際ふるさとの森づくり協会(レナフォ) & いのちの森づくり 2020へ 主催 ②次の企業様のご支援ご協賛により苗木を提供させて頂きました。 本田技研工業(株)様 80本、(株)建新様 70本、くまざわ(株)様 34本	442,180円 NPO 法人 国際ふるさとの森づくり協会 いのちの森づくり 2020へプラス1未来へ
19	2022年 3月20日	東京藝大 Geidai Hedge 6 苗木提供 ・場所: 東京藝術大学(上野キャンパス)～外構の生垣混植～ ・樹種・本数: 高中低木 715本 ・備考: 下記企業様のご寄付ご協賛により苗木を提供させて頂きました。 本田技研工業(株)様 200本、ホットケーキパーラー Fru-Full 様 179本、(株)ホンダロジスティクス様 136本、(株)建新様 100本、くまざわ(株)様 100本	321,750円 東京藝術大学
20	3月随時	春の育樹(除草・剪定)～学校の森づくり／その他平塚市内・近隣地～ ・場所: 平塚市その他近隣の学校(伊勢原高校、平塚盲学校他) ・備考: No.1 記載の企業様からのご協賛・ご寄付を活用させて頂きました。	23,800円 神奈川県立伊勢原高校 〃 平塚盲学校
			9,337,085円



「いのちの森づくり」の輪！ 和！ ワッ！



NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会 (ReNaFo)

理事長 高橋 秀行

前理事長故高野義武氏は「気候変動の今、自然林再生を」と訴えた。つまり人間の起こしてしまった後始末も人間がしなければならないということである。

高野氏は「宮脇方式」を基に「潜在自然植生を用いた自然林再生技術指針」を作成し、国交省に訴え続け、ついに2021年9月、「国の植樹指針」の一つとして認められた。そのひと月前、残念ながら本人はそれを見ることなく亡くなってしまったが、「ReNaFo」にとっても非常に大きな功績である。これによって「宮脇方式」は大きく羽ばたき、「植生工学士」達は大手を振って益々活躍の場が広がっていくと確信する。

「ふるさとの木によるふるさとの森づくり」は、進和学園においては早くから進められており、今でも進化されていることは、皆さんの思いと努力の賜物と尊敬するところ。宮脇先生も天から「みなしゃーん」とお喜びのことと想像できる。

共にこれからも一途に「宮脇方式」を貫いて活動していきたいものだ。（写真：高尾小仏育樹祭 2022 春ー2022.4.23ー）



MotherNess Publishing

代表 羽塚 順子

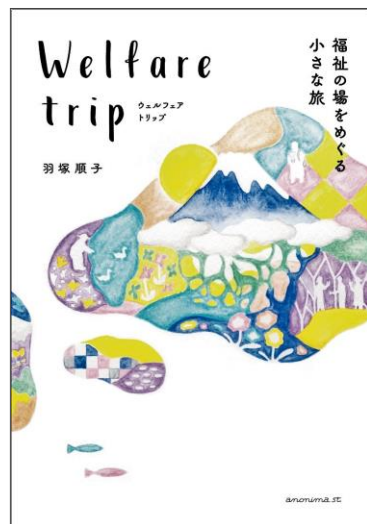
未来のための調和の社会づくりのお手本

「本来その地にあった様々な種類の樹木が混ざり合っていないければ、森は自然災害に弱く崩壊してしまう。多様なほど強くなるのは人間社会も同じ」。東日本大震災直後、大自然と人間社会が同じだとのお話に感動しました。

今や30万本以上の植樹を実施、お仲間を増やしながら成長する「いのちの森づくり」プロジェクト。あまりに素晴らしい取り組みなので、全国の福祉施設を旅する拙著『ウェルフェアトリップ』（アノニマ・スタジオ/中央出版：写真右）で紹介させていただきました。

進和学園さんは、高度経済成長期、先駆的福祉工場を実現されました。半世紀を経て次に求められているのは、地球環境を守る森をつくり、多様な人々と手を取り合い生きていく、未来の調和の社会づくりのお手本となることなのでしょう。

これからも応援させてください。



羽塚順子著
「ウェルフェアトリップ」
(2021年12月発行)



社会福祉法人進和学園 しんわルネッサンス

第5代どんぐり隊長 府川 勝宏

こんにちは！

2022年度より第5代どんぐり隊長に就任しました府川勝宏と申します。

「いのちの森づくり」事業に携わって2年目ということもあり、まだまだ知識・技術も足りませんが、精一杯頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

温暖化・カーボンニュートラル・異常気象など様々な環境に対するワードが飛び交う中で、「いのちの森づくり」に参加できることを大変嬉しく思っています。

私は5年程、野菜づくりに没頭した時期がありますが、今後は、自然林再生専門研修の受講をはじめ、樹木や植樹に対する知識・技術を高め、どんぐり隊長の名に恥じない仕事をしていきたいと思っております。

◀ 第4代どんぐり隊長の井上朝陽職員(左)から要職を引き継いだ府川勝宏職員(右)
～「しんわルネッサンス」の森を背景に(2022.5.19)～



「いのちの森づくり」プロジェクト・スキーム

ご寄付・協賛・助成企業・団体様



【ご寄付・協賛・助成金】
個人: 1,000 から
団体: 10,000 円から

社会福祉法人進和学園「いのちの森づくり友の会」基金

【お振込み口座】

横浜銀行 平塚支店 普通預金 0106352

福祉法人進和学園 理事長 出縄守英

【作業工賃】(植樹用ポット苗の代金&育樹等の作業工賃)
公共スペースにおける植樹・育樹・保全活動

(自然林・荒地・公園・防潮林・里山・道路側道・学校等の公共施設)

ポット苗(樹高 30cm 以上 2~3 年生苗)標準価格 ¥450(税込)

育樹等作業工賃: 最低賃金の 50% 以上を確保

どんぐりブラザーズ (福祉施設による森づくりチーム)

(株) 研進 障害者就労支援団体

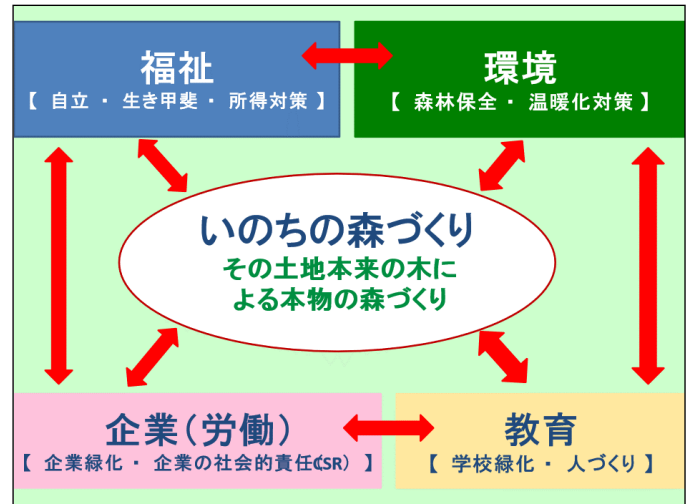


指導・育成
・苗木栽培
・植樹
・育樹
(除草)

社会福祉法人進和学園(しんわろネッサンス)
社会福祉法人湘南の風(maiえるしい／えいむ)
社会福祉法人横須賀黎明会(横須賀ヘーメット)
NPO 法人パソボラサークル(農業ステーション)
社会福祉法人県央福祉会(パステルファームワーキングセンター)
社会福祉法人あすなろの会(みとおし)
社会福祉法人小田原支援センター
社会福祉法人足柄緑の会
NPO 法人神奈川県障害者自立生活支援センター
(キルクもはま)
NPO 法人あるが(ハッピーフルーツ)
社会福祉法人 敬愛(けいあい工房)
一般社団法人 SOWET みんなの広場
静岡県掛川市所在福祉施設
(仲介者: NPO 法人時ノ寿の森クラブ)
社会福祉法人草笛の会(だいとう作業所)
(2022 年 3 月末現在: 13 法人 14 施設)

「いのちの森づくり」プロジェクトは、「その土地本来の木による本物の森(自然の森)」を再生する取り組みです。

障害のある方達がどんぐりや木の実から苗木を育て、各地に植樹を行います。植樹地の保全として必要な育樹(主に除草)作業も福祉施設が担い、緑化活動を通じた自然環境保全並びに障害者の自立・就労支援に貢献します。



▲高尾小仏植樹祭 2021 植樹を終えて記念写真 (2021.10.10)



SDGs ウェディングケーキモデル

SDGs(持続可能な開発目標)とは、国連加盟 193 ヶ国が達成を目指す 2030 年までの国際目標です。17 の目標が掲げられ、「SDGs ウェディングケーキモデル」は、その重要性を分かり易く整理したものです。人間社会と経済活動のサステナビリティは、環境(生物多様性)を土台に成立していることを示しています。

「いのちの森づくり」は、植樹活動を通じた自然環境保全、並びに障害者の自立・就労支援に繋がり、SDGsの土台である「環境」及び「社会」の目標達成に貢献します!



2021 年度「いのちの森づくり友の会」基金収支報告

科 目	金 額	備 考 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日
個人(会員)収入	1, 581, 214円	111件 参考:前年度 1,794,384 円
団体(会員)収入	7, 248, 756円	130件 参考:前年度 7,272,280 円
利息収入	19円	普通預金利息
前年度繰越金	3, 330, 528円	参考:前年度 1,636,344 円
収入合計	12, 160, 517円	参考:前年度 10,703,024 円
ポット苗購入・ 作業等への助成 (進和学園作業 会計への充当)	9, 337, 085円	P. 12～13掲載の 20 件の植樹・育樹等関連事案に要した費用。 金額は、社会福祉法人進和学園「いのちの森づくり基金」活用基準(注)に 基づき算出する。 (注)・苗木標準単価:450 円(税込)を確保。(樹高 30cm以上) ・稲藁、竹串、藁縄等の資材:市場価格に準ずる。 ・労務工賃:最低賃金の 50%以上の時給を確保。 ・交通費その他諸経費:実費
つながる募金手数料	266円	ソフトバンク・モバイル募金
支出合計	9, 337, 351円	参考:前年度 7,372,496 円
次年度繰越金	2, 823, 166円	参考:前年度 3,330,528 円

「いのちの森づくり」プロジェクト活動実績

年 度	苗木提供本数	いのちの森づくり基金 の活用実績 (2022 年 3 月末現在)		
		事案数	苗木提供本数	活用基金 (苗木代金・労賃・経費等)
2009	11, 986本	3	2, 704本	1, 204, 800円
2010	24, 243本	17	3, 675本	2, 467, 410円
2011	28, 064本	30	3, 534本	3, 836, 919円
2012	39, 650本	40	14, 476本	8, 991, 417円
2013	38, 607本	40	17, 594本	9, 266, 423円
2014	22, 489本	39	10, 967本	13, 331, 659円
2015	20, 392本	30	8, 381本	10, 010, 692円
2016	26, 132本	30	14, 202本	12, 493, 184円
2017	26, 271本	25	15, 130本	11, 662, 474円
2018	22, 910本	27	11, 683本	8, 806, 247円
2019	27, 224本	26	14, 881本	10, 698, 148円
2020	16, 268本	17	8, 343本	7, 372, 266円
2021	20, 258本	20	10, 625本	9, 337, 085円
合 計	324, 494本	344	136, 195本	109, 478, 724円

「いのちの森づくり友の会」のご案内

進和学園「いのちの森づくり友の会」は、私達の活動にご賛同頂ける方に、「友の会」の会員になって頂き、その会費を基金に充てる制度です。会費は、「友の会」より「社会福祉法人進和学園いのちの森づくり基金」に寄付されます。

会費(寄付)は、個人会員様には所得税の寄付控除(2千円以上)、事業所会員様には、損金の限度内算入が認められます。

個人	1年1回 1,000円から
団体	1年1回 10,000円から

【お申込み】

株式会社研進／進和学園ホームページ「いのちの森づくり友の会」より申込用紙をダウンロードの上、お申込み下さい。

会費(寄付金)は下記口座へお振込み下さい。

【お振込み口座】

横浜銀行 平塚支店 普通預金 0106352
社会福祉法人進和学園 理事長 出縄守英



編集後記:

コロナ禍の長期化により、2021 年度の活動も大きく影響を受けました。また、宮脇昭先生とレナフォの高野理事長という指導者お二人が相次いで天国に召されました。本号は、ささやかですが、ご両名の追悼号と位置付けて発行させて頂きます。

苦難が続きますが、それでも、私達は歩みを止める訳には参りません。志を継承して行かねばなりません。苗木の出荷は2万本台に挽回、育樹作業も前年度よりも活発化しています。これも、皆様の温かいご支援ご厚意の賜と心より感謝申し上げます。

皆様のご期待に沿えるよう、これからも一同力を合わせてチャレンジして参ります！



桧貴 美根光

2022 年 (令和 4 年) 7 月吉日

進和学園「いのちの森づくり友の会」会報 第 13 号

・発行：社会福祉法人 進和学園

「いのちの森づくり友の会」事務局

TEL:0463-58-5267 FAX:0463-58-2675

URL:<http://www.kenshin-c.co.jp/inochinomorizukuri>

・編集：株式会社 研進(障害者就労支援団体) 桧貴 美根光